

[奨励賞] GyroEye



代表取締役社長
三原 正一氏

株式会社 インフォマティクス

〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1310

TEL. 044 (520) 0850

<http://www.informatix.co.jp/>

「GyroEye」は、ジャイロセンサーと画像認識技術を駆使し、スマートフォンやタブレット端末を利用して3DCADデータ等の仮想情報を現実空間に合成して見せる、ビジネス用拡張現実（AR）システムである。

紙図面にスマートフォンなどの端末をかざすと、端末越しの紙図面上に3DCADデータがリアルに表示されるため、図面に描かれる寸法情報、方位、近隣との位置関係などを3Dデータとリンクしながら直感的に把握でき、設計者の意図を正確にクライアントに伝えられる。（任意の画像を参照し表示するマーカービュー方式）

一方、模型にはできない、建物内部に入ることができ、窓越しの景観、カウンターキッチンからリビングの見通し、キッチンの高さの確認、子供や車椅子の目線の確認など様々な場面に応じた視線シミュレーションも可能。内観だけでなく、外観の見栄えを、距離を目安に合わせながらの確認もできる。（ジャイロセンサーを活用したARビュー方式）

現在、インフォマティクスでは、設計者自らが各種の建築CADで作成した3DCADデータを、GyroEyeのARデータに変換することができるようなデータコンバーターを開発中。これにより、建設業界でもARが更に身近なものとなると考えている。スマートデバイスの効果的な活用を目指す住宅メーカーをはじめ、設計業務の効率化の手段として、建設業界から注目を集めている。

